

ごあいさつ

北海道教育大学附属旭川中学校 上田祐二

平素より本校の教育にご理解・ご支援をいただき、まことにありがとうございます。

例年であれば、令和2年度教育研究大会として多くのご来賓、助言者の方々、またご参加のみなさまより有益なご助言・ご指導をいただける貴重な機会となりますところ、新型コロナウイルス感染症への対応のためやむなく中止せざるを得ないこととなりました。関係のみなさまにまずはお詫び申し上げます。

本校では、『新たな価値を生み出す学びのプロセスに関する研究』をテーマに掲げて、3年間の研究を積み重ねて参りました。その成果を踏まえて今年度より新たな3年間の研究テーマを『「質の高い学び」の創造』と設定し、その初年度に当たる今年度は各教科における学びのプロセスに注目した実践に取り組んでおります。特に、前年度までの研究で見出した授業の充実を図る4つの視点を「質の高い学び」が成立する各教科を貫く条件として共有するとともに、それを踏まえて各教科の特性に応じた学びのプロセスとそこでの指導の手だてを具体化することに焦点を置いています。

本校の研究は、おおよそ年始から春にかけて研究テーマに関する理論的考究から実践仮説を導出し、それにもとづいて実践を積み重ね、その成果を研究大会において公開する。そして大会後の実践仮説の検証・評価を踏まえて、次年度のテーマを設定するという流れで進めております。本来であれば、理論と実践との両面から得られた成果を研究大会また研究紀要においてご紹介したいところでした。しかしながらこのたびの休校措置によって、理論的な仮説を実践によって具体化するための十分な時間が失われてしまいました。いわばPDCAサイクルのDに当たる最も重要な局面に欠落が生じている困難な状況のなか、研究計画の修正も余儀なくされています。しかしながら学校再開後の研究を遅滞・停滞なく推し進めることは私たちの本意であり、そのための橋頭堡としてこれまでの理論的な考究と試行的な実践の成果とを研究紀要としてまとめ、このたび公開することといたしました。

本研究紀要が、今後の研究の推進力を強めるみなさまからのご示唆を得る機会になるとともに、みなさまにとってもご自身の実践の一助になることを期待しております。

